



コバトン



気象予測データによるウンカ飛来予測状況 (トビイロウンカ、セジロウンカ)

令和4年7月4日
埼玉県病虫害防除

※ウンカ飛来予測システムに障害が発生しているため、7月以降の飛来予測ができていない状況です。飛来状況が確認でき次第更新していく予定です。

1 集計期間

令和4年5月1日～6月30日（※次回の発表は7月19日予定）

2 集計方法

日本植物防疫協会提供の気象解析データを使用した飛来解析による、埼玉県内への飛来日を集計

3 集計結果

5月1日から6月30日までに、県内へのウンカ（トビイロウンカ、セジロウンカ）の飛来が予測された日数は、1日でした。（6月25日）

過去10年間の同時期の平年値は3.7日です。

飛来 予測日 日数	集計期間	本年 (令和4年)	昨年 (令和3年)	平年値
	5/1～31	0日	5日	1.9日
	6/1～15	0日	2日	0.7日
	6/16～30	1日	0日	1.1日
	計(5/1～6/30)	1日	7日	3.7日

※平年値は平成24年～令和3年の平均値。

4 ウンカの被害について

トビイロウンカとセジロウンカは国内では越冬できず、毎年6～7月の梅雨時期に南西風に乗って、中国大陸から飛来するイネの害虫です。

特にトビイロウンカは、イネの株元に寄生し、急激に増殖、吸汁加害することで、被害が発生します。被害が広がりのちに「坪枯れ」症状が発生します。

飛来予測回数が多い場合は、株元をよく観察し、寄生が確認されたほ場では薬剤防除を実施しましょう。



トビイロウンカによる坪枯れ被害



トビイロウンカ成虫



セジロウンカ成虫